



支部だより

東北支部

第308回化学への招待 開催報告

はじめに

2021年10月30日(土)、31日(日)の2日間にわたり、第308回化学への招待が八戸工業高等専門学校にて開催されました。2020年度はコロナ禍によりオンラインでの模擬授業や実験動画の配信となりました。残念ながらあまり活況ではなく、2021年度こそは対面で実施したいと思っていたところ、当初の開催予定が新型コロナウイルス感染症の第5波と重なり、10月に延期となりました。隙間を縫うようにして、なんとか開催することができ、県内外から延べ69名の中学生が参加してくれました。

化学への招待

主に中学生を対象としたこのイベントは、無機化学や有機化学、生物化学などに関連した実験を通じて、中学校の理科の授業との関連やその先のより専門的な化学を学ぶ体験型学習です。

参加者は、各日午前と午後の実験テーマから1テーマずつ、計2テーマを希望して体験実験に臨みます(午前、午後のみという参加も可)。今回は次の12テーマを設けました。

手作り鏡をつくろう(門磨義浩)/金のしおりに作ってみよう(松本克才)/色素を分離してみよう～ニンジンとホウレン草の色素～(菊地康昭)/新しい分離濃

縮技術 固相抽出を学ぼう(本間哲雄)/ガラス細工に挑戦(長谷川章)/染色体を観察してみよう(山本歩)/身近なものをつかって酸化還元をみてみよう(金子賢介)/液晶温度計を作ってみよう(齊藤貴之)/身近なポリマーで遊ぼう(佐藤久美子)/七宝焼きのアクセサリーをつくろう(千葉憲一)/野菜の抗酸化力を調べてみよう(川口恵未)/水で色が変わる紙?(小船茉莉奈)

中学校の理科の実験では扱わないよう



な実験器具を用い、様々な物質の変化を見て、集中して熱心に実験に取り組んでいました。また実験の最中、TA学生と雑談し、学校生活について生の声を聞く様子も見られました。

昼休み後には、中学生・保護者と教員・高専学生の相談会を設け、進路や学校生活など多岐にわたる質問が活発に行われました。参加者には中学3年生が多く、進路に関する相談が多く寄せられました。

おわりに

参加者からは、「TA学生が親切に教えてくれてよかった」、「去年はコロナによってWeb開催であったが、今年は実際に体験できてよかった」などという感想も聞かれ、有意義な2日間になったと思われま

す。依然として、コロナ禍によって各種イベントはオンライン開催が多くなっています。これはこれで省力化にはなることもありますが、化学の魅力を伝えるには、見て触ってという五感に訴えて「体験」してもらうことが重要だと改めて感じました。これからも様々な工夫を通して化学の魅力を発信していきたいと思

【新井宏忠(八戸工業高等専門学校)】

© 2022 The Chemical Society of Japan